

「伏古本町・札苗地区学校配置検討委員会」に関する 住民説明会開催報告

札幌市教育委員会生涯学習部学校規模適正化担当課

開催概要

開催日時

令和4年11月20日(日) 10時00分～16時00分
令和4年11月21日(月) 16時00分～20時00分

会場

伏古記念会館(札幌市東区伏古7条2丁目8番15号)

来場者数

51人(2日間延べ)

開催内容

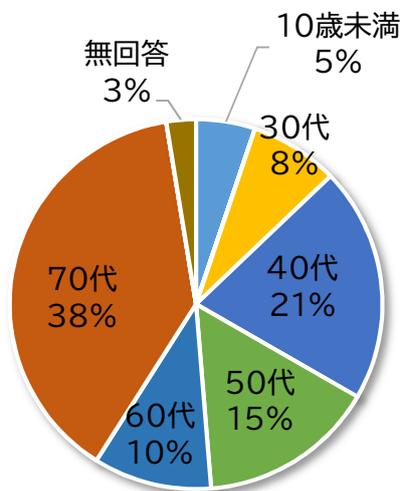
会場内にパネルを展示し、個別にご意見・ご質問をお伺いするオープンハウス型の住民説明会を開催しました。

会場の様子

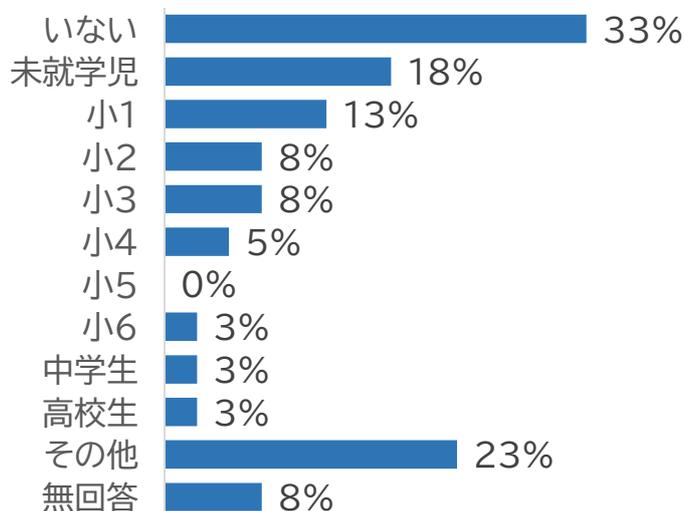


ご来場者アンケート集計結果

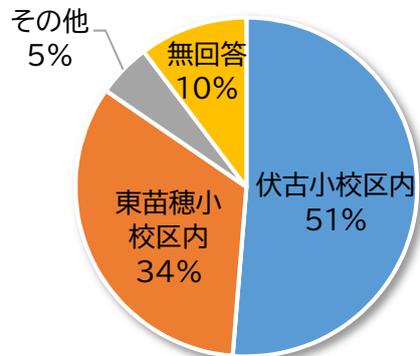
Q 年齢を教えてください



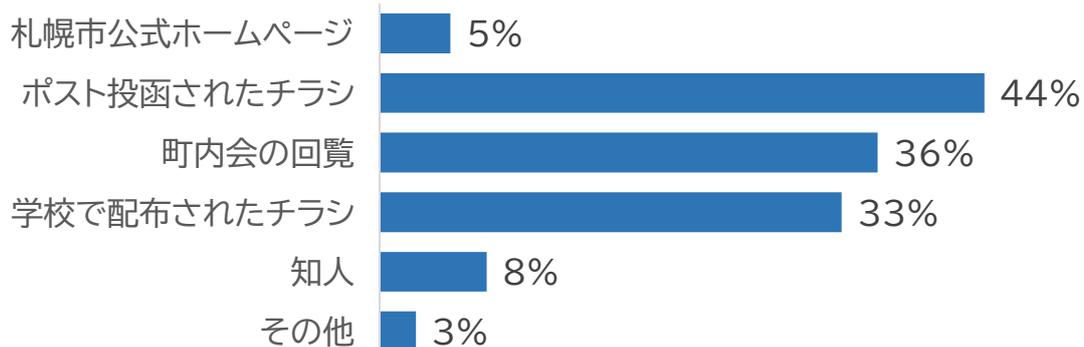
Q お子様の学年を教えてください
(複数回答可)



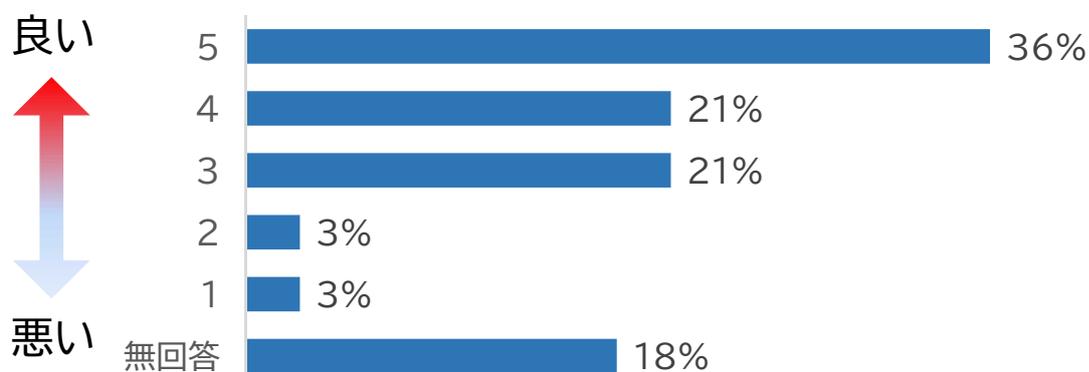
Q お住まいの地域を教えてください



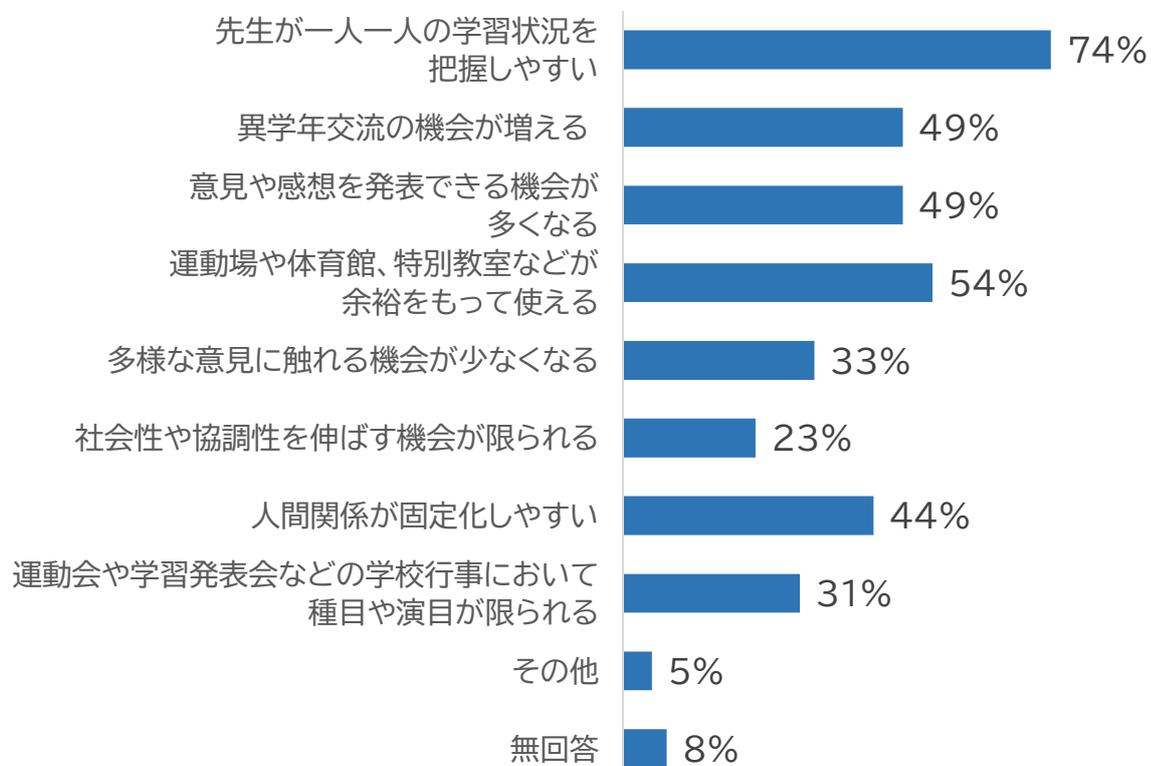
Q 今回の説明会を何で知りましたか(複数回答可)



Q 説明会の内容はどうでしたか(5段階評価)



Q 小規模校にどのようなイメージがありますか(複数回答可)



学校の統合や今回の説明会の内容についていただいた主なご意見

- 1学年何クラス(何人)が適正か判らないが、一定数の人員で交流できることが良いと思う。社会の人口構成で統廃合、新設が考えられるが、少子高齢化の中で市教育委員会の考え方は妥当、やむを得ないものとする。良き検討結果が得られることを望みます。
- 時代と共に少子化が進み淋しくなるばかり。小学校を離れて20年以上になるが、状況が良く解りました。
- 東苗穂小と伏古小の統合に関し、両校の児童数の減少を知りましたが、この程度の減少であれば学級数の削減で済むのではないのでしょうか。児童が大幅減しているのであれば、統合やむなしですが、両校の存続を望みます。
- 統合より継続を探って欲しい。
- 子どもが少なくなっても統合を進めないで欲しいです。多数の子どもになじめず、学校に行けなくなる子もいるので、不登校になっている子どものために活かして欲しいです。子どものランドセル、水筒、諸道具と低学年の子は重い物を持って登校します。学校を遠くしないで欲しいです。
- 統合には反対です。ゆとりのある教育が必要ではないかと思えます。先生方の負担や子ども達の事を考えると、もう少し現状のままで良いのではないか。
- 極端な小規模校にはあまり良いイメージを持っていなかったのですが、ご説明いただいた様に限られた人間関係で6年間過ごすことより、一般社会に近い多様な人がいる中で過ごした方が子どもには良いと思います。今回の案には賛成です。ただ、個別に申し上げたように、校区等を決定する検討委員会の人選は十分に吟味された方が良いと思います。できれば当事者となる各学校の保護者、住民には詳細な経過を知らせていただきたいです。また、難しいとは思いますが、これを機会に近隣校の校区の見直し等も進め、現状に合ったものにしていく必要があると思います。
- 統合によるメリットの方がデメリットを上回るのではないかと考えます。友人関係の広がり、とても大きいと思います。ぜひ統合する方向で検討をお願いします。